

区分47	専門分野 微生物学的検査	授業科目名	微生物検査学実習	単位数	2単位 (60時間)
開講時期	2年 前期	担当教員	横溝 勝	担当教員の 実務経験	有・無
◆実務経験の内容 国立長崎中央病院で1年半、国立嬉野病院で9年間、国立小倉病院2年間、臨床微生物検査に従事、学生・新人指導、看護学校授業など行ってきました。その経験をもとに講義・実習を行います。					
◆授業の目的・目標 1年次で学習したことを踏まえ、さらに微生物検査に携わるための基礎的な知識と技能を身につけることを目標とし、腸内細菌目、ピブリオ科、パストツレラ科、シュードモナス科などの代表的菌種について、培養所見やグラム染色像、生化学的性状の特徴を説明し、基本的な分離培養・同定・薬剤感受性検査を安全に実施できるようになることをめざします。					
◆授業の概要・授業方針 教科書・プリントを中心に代表的な菌種(腸内細菌目、ピブリオ科、パストツレラ科、シュードモナス科など)について、培養・同定と薬剤感受性試験の実習を行う。また、その他の菌種(通性嫌気性菌、微好気性菌、偏性好気性菌など)について検査上の注意点と臨床的意義などを学習します。					
◆テキスト・参考資料等 最新臨床検査学講座 微生物学/臨床微生物学(医歯薬出版) 臨床微生物検査ハンドブック/三輪書店			◆成績評価の方法 定期試験・実地試験・出席点・実習態度		
授業計画					チェック欄
第1回	球菌属復習・腸内細菌目について				
第2回	腸内細菌目講義・実習(通性嫌気性桿菌) ・球菌との違い ・グラム陰性好気性桿菌との違い				
第3回					
第4回					
第5回					
第6回					
第7回					
第8回					ピブリオ科講義・実習(通性嫌気性桿菌) ・腸内細菌科との違い ・グラム陰性好気性桿菌との違い
第9回					
第10回					
第11回					
第12回					
第13回	パストツレラ科講義・実習(通性嫌気性桿菌) ・他のグラム陰性桿菌との違い				
第14回					
第15回					
第16回					
第17回	シュードモナス科講義・実習(グラム陰性好気性桿菌) ・グラム陰性通性好気性菌との違い				
第18回					
第19回					
第20回					
第21回					
第22回	グラム陰性通性嫌気性菌講義				
第23回	グラム陰性偏性好気性桿菌講義				
第24回	グラム陰性微好気性らせん菌講義				
第25回	グラム陽性偏性好気性菌講義				
第26回	薬剤感受性検査講義・実習				
第27回					
第28回					
第29回					
第30回	前期総括				